

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームあんど

(ユニット名)

じぞう村

記入者(管理者)

氏名

楠橋 昌美

評価完了日

平成 19年 6月 1日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3871200154		
法人名	有限会社ウイズ・ケイ		
事業所名	グループホームあんど		
所在地	西条市桑村4 5 6 番地 (電話) 0898-76-5511		
管理者	楠橋 昌美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月6日	評価確定日	平成19年8月17日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

居間の窓からは、事業所の運動場や畑が眺められる。廊下に設置された畳の長椅子は、横になったり、利用者同士のおしゃべりの場、又、ご家族と語らう場となっている。職員は、ご本人と信頼関係が築けた後に入浴の介助をすることとなっている。利用契約時、ご家族に重度化した場合や看取り時のケアについてお話をされており、又、全職員でも話し合いがなされている。必要に応じて夜間にも職員を増員し対応されており、ご家族、医師や看護師とも連携を図り、取り組んでおられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・ 前回の評価結果を受けて、緊急時の手当てについて、全員参加で実技を含む研修を行なっておられる。感染症について勉強会を行い、居間に洗い場を設けられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・ 項目について意見を出し合い、自己評価に取り組みました。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・ 会議時、民生委員の方から足湯を行うことの提案があり、早速実行されていた。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ 3ヶ月ごとに家族会を開催し、ご家族に意見や要望等を出していただいている。家族同士の関係性も深まっておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・ 事業所の便りを公民館・郵便局・消防署に配布されている。幼稚園児との交流等もされている。

【情報提供票より】 (平成19年6月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成14年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	8人, 非常勤 6人, 常勤換算 11.9人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		円 1カ月 31,500 円
(3)利用者の概要 (平成19年6月1日現在)			
利用者人数	17 名	男性 0 名	女性 17 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名
要介護3	7 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88 歳	最低 74 歳	最高 99 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用型共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の一員として生活できるよう、サポートしていくことを理念のひとつにあげている。		
			(外部評価)		
			理念のひとつに「共耕共遊の里」を掲げ、事業所が造った「あんど公園」を近所の人達に利用していただき、地域とのつながりを深めていきたいと考えておられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を常に意識して実践できるよう努力している。職員採用時には理念を伝え、ミーティング等でも話している。		
			(外部評価)		
			管理者は、日常の中で「利用者個々の尊厳」についてや「利用者個々の持てる機能を保つ生活」について話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族会や運営推進会議では理念について説明しているが、他の地域の人々(近隣の人々)にはまだ説明できておらず、十分な理解を得ているとは言えない。		地域の方々に発行しているたよりの中に理念を分かりやすく入れていく。 公園前の掲示板に理念を貼り、近隣の方々に理解してもらえるよう努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近くの畑の人から野菜をもらったり、公園で一緒にお茶を飲んでくださる方もいらっしゃるが、まだまだ挨拶どまりの方が多い。		自由に公園が利用できる事を広めて、利用してもらおう。その時にお年寄りとお過ごせるようにしていく。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域学校の運動会や、文化祭、お祭りには参加させてもらっているが、地元の人々と交流する機会がない。中学校の研修や「地域に働く人々」の講演には協力させてもらってはいる。 (外部評価) 事業所の便りを公民館・郵便局・消防署に配布されている。幼稚園児との交流等もされている。		あんどで行う消防訓練とか救急法などへの参加を呼びかける。桜まつり、藤まつりなどの行事を計画し地域の方々に参加してもらおう。又、地域の行事にも積極的に参加していく。 さらに、「あんど公園」を利用し、地域の方々と交流を行うような計画を立てておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を通し、当事業所で力になれる事は何でも声を掛けてくださるようお願いしているが、まだまだである。(運営推進会議に参加されている方々とは認知症の勉強会はしている)		運営推進会議の参加者を通じて認知症を分かってもらえるような機会の場をつくってもらったり、又、介護に対して相談があればいつでも来て下さい、という事を地域の方々に広めてもらう。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 去年の外部評価の結果をもう一度職員達と話し合い、改善できるよう努力している。自己評価は運営者、管理者、職員で取り組んでいる。 (外部評価) 項目について意見を出し合い自己評価に取り組まれた。前回の評価結果を受けて、緊急時の手当てについて、全員参加で実技を含む研修を行なっておられる。感染症について勉強会を行い、居間に洗い場を設けられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では報告、改善点も説明している。その中で入浴に関して意見をいただき、それを実行している。		もっといろいろな意見を出してもらえるような会づくりをしていく。(運営推進会議のメンバーを増やす等)
			(外部評価)		
			会議時、民生委員の方から足湯を行うことの提案があり、早速実行されていた。		今後、民生委員の方に会議の中で成年後見制度について説明をいただいたり、秋に防災訓練を実施することも予定をされていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			分からない事に対しては電話等の対応は行っているが、積極的にはできていない。		分からない事、不安な事は実際に市役所に出向いて行く。
			(外部評価)		
			介護相談員を受け入れ、得た意見を事業所の質向上に採り入れておられる。		地域包括支援センター等の力を借りながら、地域の方達に向けて介護教室を開催したいと考えておられる。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			成年後見制度への研修会には参加したが、職員への勉強会はまだ行っていない。その為、必要な時支援できる体制はとれていない。		運営推進会議のメンバー(民生委員)の方に勉強会をお願いする。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待についての勉強会を行い、もう一度自分達のケアサービスを見つめ直した。(レポート等)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書や重要事項説明書については丁寧に説明を行っている。又、医療連携や理念についても詳しく説明をしており、家族さんの意見も聞いている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が月に1回来所し、利用者の相談にのって頂いている。又、ホーム側も意見や不満を言いやすいように働きかけている。 (日頃のコミュニケーション、入浴時などの言動から見極めている)		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族会で報告、来られない方には議事録にて報告している。面会者には、日々の暮らしや健康状態をその都度説明している。又、月1回のたよりでも日々の生活が分かるようにしている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、ご本人の日頃の様子を伝えておられる。あんど便り・写真・家族会の議事録を送付している。足遠いご家族へは、電話で報告をすることもあ		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会にていろいろな意見、不満、苦情を出して頂いている。又、出された意見等に対してはミーティングで職員と話し合い改善する努力をしている。		
			(外部評価) 3ヶ月ごとに家族会を開催し、ご家族に意見や要望等を出していただいている。家族同士の関係性も深まっておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者、管理者も介護に入っており、いろいろな場面で職員の意見を聞くことができる。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に応じた対応ができるようにしている。 (急変事には、夜間対応2~3名にしたり、急病の職員の代わりに入れるよう体制をとっている。)		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) わらべ村、じぞう村それぞれ決まった職員の配置にし、顔なじみの職員が対応している。又、新しい職員が入る場合も利用者にきちんと紹介しており、信頼関係ができてから、入浴、排泄の介助に入っている。 (外部評価) 新しく職員が入った場合、利用者との信頼関係ができるまでは、馴染みの職員と二人体制で対応されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内での研修(勉強会)には全職員が参加しているが、事業所外の研修には一部の職員しか参加できていない。 (外部評価) 短大教授を年に2回招き、内部研修を行っておられ、ご家族等も参加されている。		事業所外で行なわれる研修に参加できる体制をつくっていく。 研修報告の会を持つ。 今後、管理者は、職員に対して県GH連絡協議会の研修への参加を積極的に促していきたいと考えておられた。又、職員の希望する研修を受講できるよう、取組みたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループホーム協会等が開催する研修には参加しているが相互訪問等の活動はできていない。		もっと他のグループホームを見学する機会を設け、職員同士の交流が持てるように取り組んでいく。
			(外部評価) 市外のグループホームの見学等をされているが、地域の同業者との交流は少ない。		地域の他事業所との交流・情報交換を行い、さらなる事業所の質の向上につなげていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 運営者、管理者、職員での交流会を年に数回行っている。又、管理者は常に職員の話聞く機会を設けている。勤務に関しても本人の体調や希望を取り入れストレスがかからないようにしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 事業所は資格の取得には協力を行っている。又、その資格に応じた手当でも支給している。		
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面談を行い、ご家族や本人の状況をよく聴いている。又、日中、夜間とも何日か体験して頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 見学時にご家族から困っている事や希望等の話をしてもらっている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時には、家族の思いや本人の状況などを考慮し、助言、対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 見学、面談から始まり、日中遊びに来てもらったり、何日か体験をして、本人が安心して入居できるようにしている。 (外部評価) 病院・施設からの入居となる場合が多く、管理者は、事前に病院や施設へ伺い、ご本人と面会し、ご家族からもゆっくりとお話を聞いておられる。		又、今後は、利用者個々のご自宅を訪問するような取組みも計画されていた。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 介護する側、される側ではなく、共に支えあい役割のある生活を一緒に送っている。 (外部評価) 職員は、料理・地方の習慣・お釜ごはんを炊くこと等を教えてもらうことがある。入浴中に、利用者がこれまでの自分の人生について話してくださることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所が多い家族さんとは、情報交換し、話し合う事ができるが、来所の少ない家族さんとの情報交換はあまりできていない。		家族さんが気軽に参加できる催し物や会を考える。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 来所の少ない家族と本人の関係は、距離が離れているように思える。		家族が気軽に参加できる会を持ったり、催し物への参加の声掛けをしていく。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 中には行きつけの美容院に行かれたり、昔からの友人が訪ねて来られたり、電話や手紙のやりとりはあるが、殆どの方が途切れてしまっている。		本人の希望や思いを家族に伝え、協力を得、支援していく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) お互い助け合い、協力しあって生活している。 職員は入居者同士の関係について理解している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去された数人のご家族とは年賀状のやり取りはしているが、利用者さんとの交流は持ててない。		行事等への参加の案内をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常生活の中で、コミュニケーションや表情から本人の希望や意向を引き出すよう努めている。又、その人に関心を持って関わるように日々努めている。		意思疎通が困難な方や、重度認知症の方には家族や知人からの情報収集をもっとしていく。
			(外部評価)		
			利用者から暮らしへの希望は出にくく、職員は、それぞれの日常の様子から意向を汲み取り、支援につなげておられる。家に帰りたいと言われる方に、お米を研いでもらうと落ち着かれたというケースもあった。		現在センター方式のアセスメント書式を一部採り入れておられるが、さらに勉強を重ね、アセスメントを充実していきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族からの情報や本人との会話の中からある程度は把握できている。		少しずつ、少しずつ、家族や本人からもっと詳しい情報を集めていく。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活リズム、本人のできる事、できない事は把握できている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 日々の関わりの中で、本人の希望や思いを知り、職員全員で意見交換を行っている。又、家族の希望や医師の意見も聞いている。		
			(外部評価)		
			利用者の状態に対して、歩行についてや食事制限等、医師のアドバイスを計画に反映させておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月に1回プランを見直しているが、状況や状態の変化に応じてその都度、カンファレンスをし、プランを作成している。		
			(外部評価)		
			3ヵ月の見直しと状態の変化時に見直しを行なっておられる。生活状況・身体機能のチェックもなされており、現状に即した計画の作成に努めておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			食事、水分量、排泄、バイタルチェックの記録とともに日々の記録ではその人の生活の様子が分かるような書き方を導入している。又、勤務開始前には必ず確認している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			状態、状況に合わせての医療支援は行っている(ターミナルの場合は、一番いい方法を本人、家族、医師、事業所との話し合いにより、体制を決めている)		
			(外部評価)		
			美容院利用については、希望で美容院が送迎をしてもらえるようになっている。病院受診の希望についてご家族のアンケートをとっておられ、今後の事業所のサービスについて意向を聞いておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している 派出所、公民館等へのたよりの配布は行っている。			たよりの配布を入居者さんと共に行っていき、まずは顔見知りになる事から始めてみる。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている できていない			地域の催し物に参加する事から始めてみる。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している できていない			運営推進会議への参加をお願いしてみる。
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している (外部評価) 当事業協力医の往診、受診の他に、かかりつけ医への受診の支援は行っている。 協力医療機関の往診がある。ご家族が受診に同行された場合は、ご家族と情報交換をされている。6ヵ月ごとに血液検査を行っている。			
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している 以前は周桑病院（神経内科）があり、適切な支援や助言をもらっていたが、現在は協力医に指示や助言をいただいている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 提携医療機関の看護師とは、日々連携を取り24時間いつでも対応ができるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には情報提供をきちんと行っている。又、家族とも情報交換をし、話し合っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人、家族、かかりつけ医、事業所とその都度、話し合っており、職員全員で対応方法を話し合い支援している。 (外部評価) 契約時、ご家族に重度化した場合や看取り時のケアについてお話をされており、又、全職員でも話し合いがなされている。必要に応じて夜間にも職員を増やし対応され、ご家族、医師や看護師とも連携を図り、取り組んでおられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 状態に応じてその都度話し合いをしており、できない事は家族にはっきり伝えている。急変した場合は、協力医療機関(看護師)にすぐ対応してもらえるよう連携を密にしている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人の入居から現在に至るまでの状態は詳しく情報提供している。又、対応方法について工夫してきた点も付け加えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 常にプライバシーを考慮し、声掛けを行っている。個人情報も守って、秘密保持に努めている。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>職員は、ご本人と信頼関係が築けた後に入浴の介助をすることとなっている。言葉かけはやさしく、耳の遠い方には、耳元でゆっくりと話しかけておられた。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 自分で選択できる場面（買い物、服選びなど）を日々つくっている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にして支援している。（食事の食べる早さや、入浴、トイレなど）</p>		<p>入居者一人ひとりがその日したい事を把握できるよう関わりを持っていく。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>できる限り利用者個々の体調や希望に沿った支援を行っている。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 洋服等は本人に選んでもらっている。ただボタンの掛け違いなどがある為、職員が見守りや介助を行っている。 又、行事がある度、おしゃれやお化粧をされている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜切り、盛り付け、片付けを一緒に行い、利用者と職員が同じテーブルで食事を楽しんでいる。又、本人に合わせた調理方法(刻み、ミキサー食)や量に応じている。時折、食材の買い物にも一緒に出かけている。 (外部評価) 利用者は、調理の下ごしらえや下膳、テーブル拭き等をされていた。食後の飲み物を職員が一人ひとりに聞いておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の飲みたい物(お茶、コーヒー、紅茶、ジュースなど)を尋ね、選べるようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で個人個人の排泄パターンを把握し、トイレの声掛け、誘導を行い、トイレ内にて排泄できるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			羞恥心に配慮しながら、できるだけ本人の希望に添うよう入浴の支援をしている。仲の良い方2人で入浴される時もある。就寝前入浴については、職員の配置上今のところ無理がある。		運営推進会議で相談を持ち掛けると、ボランティア導入の提案があったが、信頼関係、個人情報等の問題があり難しい。寝る前に足浴を試みたら、という意見があり実践している。
			(外部評価)		
			長湯を好まれる方やシャワー浴等、好みをお聞きし支援されている。菖蒲湯・ゆず湯を楽しまれたり、寝る前に足浴をされる方もおられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			1日の生活リズム(日中は活動、夜間は就寝)を整えている。日中疲れた様子が見られたら、声掛けし休んで頂いている。又、夜間寝付けない時には温かい飲み物を出したり、話をし安心してできるよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			生活の中で自分達ができる場面(掃除、野菜切り、洗濯物たたみなど)づくりを行っている。又、必ず感謝の言葉を掛けている。		
			(外部評価)		
			8月のパーベキューの会で長寿太鼓を演奏するため、利用者は、太鼓を叩く練習をされていた。習字・絵手紙・暑中見舞い・年賀状を書かれたり、朝、居間や居室の掃除をされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族との話し合いにより、金銭所持は行っていない。ただし、買い物に出た時は、一人ひとり財布を持ってもらい自分で支払いをしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			気分転換やストレス解消、季節を感じるようにデッキ、運動場、公園にはよく出られている。 (おやつやお弁当を持って行く事もある)		「外出がしんどくなった」「行くんが面倒」等の訴えが多くなった。その気持ちを変えられるような声掛けをし、外出は楽しいと思えるような支援をしていく。
			(外部評価)		
			事業所の運動場・隣接する公園によく出かけておられる。遠出を希望される方もあるが、ご本人にトイレの心配等があり、支援が難しい場合もある。		さらに、遠出を楽しむ機会を作るために、行き先の下見やご家族、ボランティアにも協力していただけるよう働きかけ、利用者が安心して外出できるよう支援したいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			支援できていない		今のところ、行きたい所の希望は聞かれないが、職員とのコミュニケーションの中で本当の思いを引き出ししていく。それによってご家族と話をし協力を求めていく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			居室に電話を設置しており、入居者さんの中には、かけたい時に電話をされている。(一人では難しいので必ず職員が支援している)大切な方に年賀状や暑中見舞は出されている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間等は決めておらず、いつでも訪問できるようにしている。居室やホールで話をされたり、公園を利用してお茶を飲みながら一緒に過される場合もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束をしない介護を目指して頑張っており、ミーティングやカンファレンス時に話し合っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけず出入りが自由にできるようにしているが、必ず職員が見守りしている。帰宅願望があり外に出たい場合は職員と一緒に歩いて気分転換を行っている。 (外部評価) 気ままに外出をされる方には、職員がさりげなく同行されている。事業所の前の住宅の方には、見守りの協力をお願いされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 記録等も入居者が過ごされているホールで書き、常に入居者を見守っている。 夜間は2時間おきに訪室、様子を確認し、対応している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗剤、刃物、薬などは保管場所を決めてある。裁縫道具やハサミ、カッターなどは必要な時使えるよう支援している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリ、ハットの記録を行い、ミーティング、カンファレンス時に話し合い予防対策について検討している。救急法や消防訓練、転倒についての勉強会には全スタッフが参加している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 全スタッフが救急訓練に参加している。スーパーバイザーによる「高齢者の病気の症状について」の勉強会も開いている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、消防訓練を年に1回実施しているが、まだ近隣の方々の協力を得られる体制はできていない。		運営推進会議を通じて協力体制をお願いする。 (マニュアル作成)事業所だけの消防訓練ではなく、地域の方々の参加を呼びかける。
			(外部評価) 消防署から消火訓練の指導をいただいた。火災時、利用者が事業所外に避難するための方法を教えていただいた。		災害時、地域の方達と協力し合えるよう話し合うことを検討されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについては家族会にて話し合っている。又、個々の状態に合わせてご家族に説明し、対応方法も話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状態は把握している。常に観察を行い、体調や様子の変化、食欲等の兆候を見落さないようにしており、状態によっては、協力医に連絡、指示を仰いでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別処方薬表を作成しており、職員がいつでも見えるようにしている。服薬時は本人に手渡し服薬した事を必ず確認している。 副作用などの状態は常に観察している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食材に食物繊維の多い物や、乳製品を取り入れたり、適度な運動を行っている。又、職員は個々の排便の状態を把握しており対応している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアの声掛け、見守りを行っており、介助が必要な方には、その方に応じた支援をしている。夜間は義歯をはずしてもらい、ポリドントにつけている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分摂取量はチェック表に記録し、把握している。又、状態に合わせて調理法や量は工夫している。 (外部評価) 野菜や魚、乳製品の摂取に心がけておられる。水分を摂りにくい方には、努めて声かけをされ、イオン飲料等も使用されていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症についてのマニュアルを作成し、研修にも参加しており、事業所内での勉強会も行っている。入居者、職員ともインフルエンザ予防接種は受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、ふきん等は毎晩、漂白を行っている。冷蔵庫内も定期的に掃除を行い、食材の残りについても十分注意している。調理をする時は、(職員、入居者とも)手洗い、消毒を励行している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関に椅子を置いており、来られた方が荷物を置いたり、足の悪い方でも靴の着脱がしやすいようにしている。 又、季節感のある置き物を飾ってある。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に生活の音、においはしている。 壁面にも季節感のある飾りつけを入居者とともにやっている。(入居者の作品展示板になっている)</p> <p>(外部評価)</p> <p>窓からは、事業所の運動場や畑が眺められる。廊下に設置された畳の長椅子は、横になったり、利用者同士のおしゃべりの場、又、ご家族と語らう場となっている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>畳スペースや廊下端の畳ベンチにて利用者同士で楽しい時間を過ごされている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた家具の持ち込みは少ないが、思い出の物、大切な物は持ち込まれている。(写真や小物など)		本人の意向を聞き、家族とも相談をする。 (何年も入居されている方にとっては、現在使われている家具や物が馴染みの物となっている。)
			(外部評価)		
			テーブルの上に小物が飾られている居室や仏壇を持ち込まれている方もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			1日に何度か換気をし、職員は常に室温と湿度に注意している。また、外気との温度差がある時は、利用者の様子を見たり、聞いたりして調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			状態によって、居室にポータブルトイレを置き安全に排泄できるようにしたり、車椅子の方もホールに出られた時は、椅子で過ごせるよう支援している。常に安全の配慮はしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			何が分り、何ができるかをよく観察し、その人の状態に合わせて工夫している。 (椅子に名前を貼ったり、居室が分るよう、表札や印をつけたりしている。)		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			花壇に花を植え、手入れや水やりをしている。車椅子の方でも季節感が分かるようデッキや公園を利用されている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の会話の中の端々に利用者の本音が出てくる事がある。 又、表情や行動から汲み取ることができる。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒にお茶、食事をしたり、雑談をしたりして過ごす時間がある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	共同生活の為、制限される部分も出てくる。(入浴する時間、食事開始時間など)入浴時間、摂取時間は一人ひとりのペースに合わせてされており、休みたい時には自由に横になられている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの役割ができており、自ら行っている。 「しょうわい」「してあげる」という言葉が出、楽しそうにされている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ちょっとした「買い物したい」等の声が聞こえた場合は一緒に出かけている。 職員が誘うと笑顔で出かけられる方もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	何か不安な事があつたら職員に訴えられ、受診や説明を行うことによって納得し安心されている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その状況に応じた対応により、それぞれが穏やかな表情で暮らされている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② ほぼ全ての家族と2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に状態を説明しており、その際家族からの要望、意見を聞いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	数名の入居者さんの所には、知人、友人が尋ねて来ている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	ビデオ鑑賞や勉強会により、認知症に対する理解者が少しずつ増えてきている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	明るく楽しそうに動いている。困った事に対しては、職員や管理者、代表者にも相談をし、皆で解決している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家の方に外泊されても、「あんどでする事がある、早くあんどに帰りたい」と訴えられる方もいる。又、表情が明るく生き生きされている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	入居者さんの生き生きしている姿を見て、安心されている家族が多いが、面会の少ない家族の思いは分からない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ 普通の生活ができるよう支援をしている。
 (掃除、洗濯物干し、たたみ、野菜切り、下膳など)

・ できる事を見極めていろいろな事をしてもらっている。
 (のれん、エプロン作り、雑巾縫いなど)

・ 今後、事業所として取り組みたいことは、あんど公園を利用して地域の人々との交流を深めていく事です。